

令和8年度 第1回
江別市社会教育委員の会議

日 時：令和8年8月21日（金）14：00～
場 所：江別市教育庁舎 1階大会議室

－ 次 第 －

- 1 委嘱状交付
- 2 開 会
- 3 教育長あいさつ
- 4 自己紹介
- 5 正副委員長の互選
- 6 議 題
 - (1) 社会教育委員の職務等について
 - (2) 令和8年度社会教育予算に係る主要事業について
 - (3) 令和7年度江別市社会教育総合計画（第10期）推進状況報告書について
- 7 その他
- 8 閉 会

江別市社会教育委員名簿

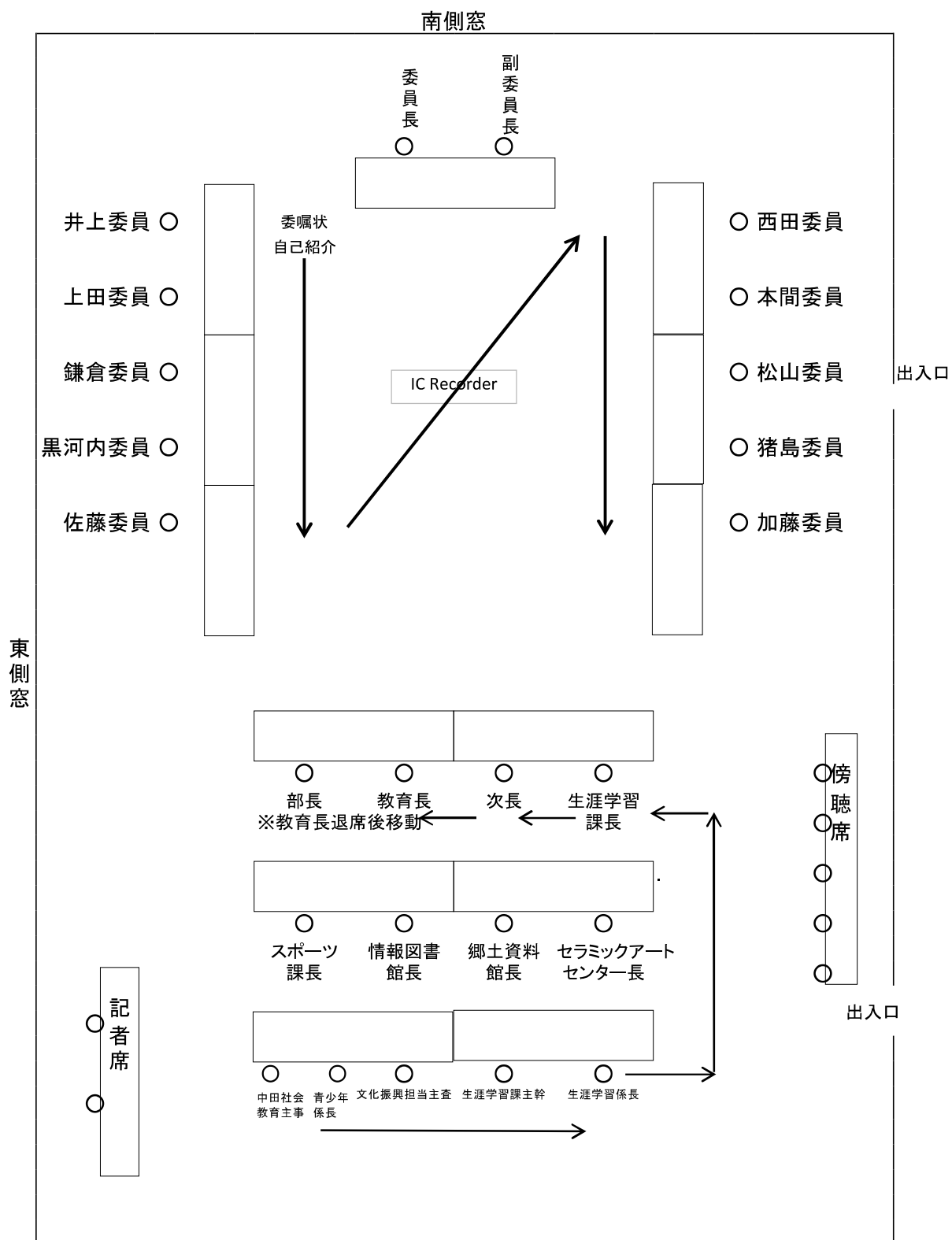
任 期 自：令和 8 年 8 月 1 日
至：令和 1 0 年 7 月 3 1 日

氏 名	所属団体等	摘要	備考
いのうえ ひろき 井上 大樹	札幌学院大学	学識経験者	
うえだ みつお 上田 充士	江別市小中学校長会	学校教育関係者	
かまくら ちあき 鎌倉 智秋	江別市女性団体協議会	社会教育関係者	
くろこうちようこ 黒河内葉子	江別市家庭問題研究会	家庭教育関係者	
さとう たかし 佐藤 貴史	江別市社会福祉協議会	社会教育関係者	
にしだこうたろう 西田浩太郎	江別市青少年のための市民会議	社会教育関係者	
ほんま くニコ 本間 邦子	特定非営利活動法人 江別市文化協会	社会教育関係者	
まつやま かずこ 松山 和子	江別市生涯学習推進協議会	社会教育関係者	
いのしま あきひこ 猪島 秋彦	公募	市民公募	
かとう める 加藤 夢遥	公募	市民公募	
10 名			

令和8年度 第1回 江別市社会教育委員の会議 会場図

日時: 令和8年8月21日(金) 14:00～

会場: 江別市教育庁舎 大会議室



①教育長はあいさつ後に退席。

②正副委員長互選後、中央席に移動。

資 料 一 覧

(1) 社会教育委員の職務等について

- ・資料1 社会教育委員について (P 1～2)

(2) 令和8年度社会教育予算に係る主要事業について

- ・資料2 令和8年度 絵で見る 社会教育事業 (主要事業) (P 3～5)
- ・資料3 令和8年度 社会教育予算主要事業一覧 (P 6～11)

(3) 令和7年度江別市社会教育総合計画 (第10期) 推進状況報告書について

- ・資料4 令和7年度江別市社会教育総合計画 (第10期) 推進状況報告書
(P 12～15)

社会教育委員について

1 社会教育委員の職務

●社会教育法（社会教育委員の職務）

第17条 社会教育委員は、社会教育に関し教育委員会に助言するため、次の職務を行う。

- (1) 社会教育に関する諸計画を立案すること。
 - (2) 定時又は臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して、意見を述べること
 - (3) 前2号の職務を行うために必要な研究調査を行うこと。
- 2 社会教育委員は、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べるができる。
- 3 市町村の社会教育委員は、当該市町村の教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者その他関係者に対し、助言と指導を与えることができる。

江別市では具体的に次のような活動を行ってもらっています。

- ① 社会教育委員の会議に出席し、議題に対して意見を述べる。
- ② 社会教育総合計画の立案（5年毎）
- ③ 不定期に開催される勉強会において、社会教育に関する調査研究を行う。
- ④ 道内、管内での社会教育委員の研修会等に出席し、交流や研究を行う。

【参考】社会教育委員の役割

（H22.7.8 開催：北海道市町村社会教育委員長等研修会にて）

- ① 社会教育委員同士が積極的に交流することにより地域の問題を発見する。
- ② 社会教育計画の立案を形式的ではなく、委員自らが行うことが重要。自らが立案することにより、地域、他市の状況などを学べる。
- ③ 現場を知るフットワークが必要である。
- ④ 職務としての「研究調査」も必要である。

※ 住民に現状を知ってもらう。課題を理解してもらう。

※ 地域の友好な関係づくり。ネットワークづくり。チームワークづくり。

※ 協働：市民だけではなく、行政とのパートナーシップ。取り次ぎ役が社会教育委員である。

●社会教育法（審議会等への諮問）

第13条 国又は地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ、国にあつては文部科学大臣が審議会等（国家行政組織法（昭和二十三年法律第二十号）第八条に規定する機関をいう。第五十一条第三項において同じ。）で政令で定めるものの、地方公共団体にあつては教育委員会が社会教育委員の会議（社会教育委員が置かれていない場合には、条例で定めるところにより社会教育に係る補助金の交付に関する事項を調査審議する審議会その他の合議制の機関）の意見を聴いて行わなければならない。

2 社会教育とは

・社会教育とは、社会において行われる教育のことです。政策において学校教育や家庭教育に対比される場合もある一方、学問において学校も家庭も社会の一部であるとして、総合的な教育の概念とされる場合もあります。

3 社会教育施設の種類

- ・社会教育にかかわる施設には、次のような施設があります。
- ・図書館、博物館等、公民館、公文書館

公文書館…… 歴史資料として重要な国又は地方公共団体が保管する公文書その他の記録（現用のものを除く。）を保存し、閲覧に供するとともに、これに関連する調査研究を行うことを目的とする施設。

4 社会教育委員の構成

●社会教育法（社会教育委員の構成）

第15条 都道府県及び市町村に社会教育委員を置くことができる。

2 社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から、教育委員会が委嘱する。

- ・社会教育委員の身分は、非常勤の特別職の地方公務員であり、条例の定めるところにより報酬、費用弁償が支給されます。
- ・社会教育は、人々の生活と直接結びついているのが特徴で、社会教育行政は人々の意向を忘れては執行できません。そこで、人々の意向を反映させる仕組みとして社会教育委員制度があり、社会教育委員は人々の意向の代弁者でもあります。

生涯学習課



野幌公民館

公民館施設補修整備費

135,390 千円

生涯学習の拠点となる公民館の老朽化した施設を改修し、施設機能の維持を図ります。

- ◆ 中央公民館、野幌公民館の照明LED化
- ◆ 大麻公民館の変圧器更新

新規

地域学校協働活動推進事業

3,821 千円

地域と学校が連携・協働し、地域全体で子どもの学びや成長を支え、地域を創生する活動を推進します。

- ◆ 地域学校協働本部の設置
- ◆ 地域学校協働本部コーディネーターの配置
- ◆ モデル校区への地域学校協働活動推進員の配置



まちかどコンサート

市民芸術祭開催支援事業

1,000 千円

主体的かつ創造性豊かな芸術文化活動の活性化を図るため、江別市独自の創造型芸術文化活動を実施します。

- ◆ まちかどコンサート開催（6月、12月）
- ◆ 市民ミュージカル準備経費補助

江別の魅力「食」と「自然」

を満喫できる体験型学習事業 328 千円

「自然環境」や「地場産品」を通じて、江別の持つ魅力が子どもたちに理解されるような体験型学習を実施します。

- ◆ えみくるを会場とした体験型学習
地場産品を活用した食育
自然体験学習・異年齢交流



江別の食と自然を満喫!!えべ知るアカデミー

令和8年度 社会教育予算（主要事業）②

スポーツ課

トップアスリート交流推進事業

2,056 千円

トップアスリートとの交流により、市民のスポーツ技術の向上と、スポーツ活動の活性化を図ります。

- ◆ 日本代表・プロスポーツ団体への合宿支援
- ◆ 市民とプロスポーツ選手等による交流事業



プロスポーツチームと市民の交流事業



中学校部活動サポート事業

7,136 千円

※8,457 千円

生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、学校や関係団体と連携し、部活動の地域展開を推進します。

- ◆ **拡大** 部活動の地域展開に関する推進会議の開催
- ◆ **拡大** 部活動指導員の増員・活動時間数の増
- ◆ **拡大** 部活動地域展開アドバイザーの配置

情報図書館

子どものための読書環境整備事業

15,525 千円

学校図書館の環境整備や教育活動の支援のために学校図書館を巡回する司書、支援する司書を配置します。

- ◆ 巡回司書（4名）、支援司書（1名）の配置
- ◆ 消耗品、図書の購入



協力企業の展示

本でつながるまちづくり事業

80 千円

閲覧用の雑誌カバー等に掲載する企業広告を募集し、館内資料の充実を図ります。

- ◆ 館内や図書館ホームページで協力企業等の広告掲載
- ◆ 協力企業等の展示を実施



令和8年度 社会教育予算（主要事業）③

郷土資料館

ふるさと江別塾「江別を学ぶ」開催事業

149千円

幅広い層の市民に「ふるさと江別」への愛着を深めてもらうため、各種歴史講座の開催等を通じて郷土史を学ぶ機会を提供します。

- ◆ 子ども学芸員カレッジ（小学生）
- ◆ 再発見・江別探訪（一般）
- ◆ 出前授業、社会見学の受入（小中学校）



子ども学芸員カレッジ（縄文土器の野焼き）



野幌屯田兵第二中隊本部

文化財施設等整備事業

1,485 千円

郷土の歴史を後世に継承していくため、歴史的建造物の補修工事を行います。

- ◆ 野幌屯田兵第二中隊本部補修工事

セラミックアートセンター

セラミックアートセンター企画展開催事業

4,198 千円

様々な企画展の開催を通じて優れた芸術文化に触れる機会を提供し、市民の文化意識の高揚を図ります。

- ◆ 手島圭三郎 絵本原画展
- ◆ 神田日勝展
- ◆ 市内中学校美術部合同展



手島圭三郎作「きたきつねのしあわせ」(2011)



陶芸教室

陶芸文化普及振興事業

9,359 千円

やきものの文化の普及振興のため、各種陶芸教室、陶芸体験、技法講座等を開催します。

- ◆ 陶芸体験、陶芸教室、技法講座の実施
- ◆ 工房利用者作品展の開催

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
生涯学習係課	公民館管理運営事業	公民館指定管理料等	100,485	124,892	24,407
	公民館施設補修整備費	中央公民館・コミュニティセンター照明改修工事、野幌公民館照明改修工事、大麻公民館・文化ホール変圧器等更新工事	50,749	135,390	84,641
	公民館備品等整備費	野幌公民館テابل更新、野幌公民館調理室冷蔵庫更新、文化ホール舞台照明機器更新	2,623	2,489	△ 134
	旧町村農場管理運営事業	旧町村農場指定管理料等	23,893	23,154	△ 739
	コミュニティセンター管理運営事業	コミュニティセンター指定管理料	17,062	20,135	3,073
	市民文化ホール管理運営事業	市民文化ホール指定管理料等	54,263	62,836	8,573
	社会教育団体支援事業	江別市女性団体協議会、江別市生涯学習推進協議会及び聚楽学園が行う事業への補助	2,195	2,195	0
	青少年ふれあい交流促進事業	地域の団体が行う青少年の健全育成事業等補助	1,200	1,200	0
	家庭教育支援事業	江別市PTA連合会が行う研修事業等への補助 子育て中の保護者等を対象とした講演会の開催経費	508	508	0
	蒼樹大学事業	65歳以上の市民を対象とした蒼樹大学の開催	501	498	△ 3
	えべつ市民カレッジ（四大学等連携生涯学習講座）事業	市内の四大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として開催	191	189	△ 2
	【新規】 地域学校協働活動推進事業	地域学校協働本部コーディネーターの報酬・手当、地域学校協働活動推進員の報酬	-	3,821	3,821

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
生涯学習 係課	ガラス工芸館管理運営経費	ガラス工芸館の管理運営	2,310	2,356	46
	北海道林木育種場旧庁舎保存利 活用推進事業	北海道林木育種場旧庁舎の歴史的価値のPRと利活用推進を図る事業等	153	130	△ 23
	子どもの文化活動育成事業（土 曜広場）	地域ボランティアによる小中学生への伝統文化教室 「土曜広場」開催経費補助	1,150	1,150	0
	江別市文化協会補助金（文化協 会事業・市民文化祭開催支援事 業）	文化協会が実施する文化振興事業、文化協会が行う舞台・展示・文芸等の市民文化祭事業への補 助	2,750	2,750	0
	文化振興奨励事業	芸術文化関係の全国大会出場者への奨励金支給	230	230	0
	青少年文化賞顕彰事業	青少年に対する文化賞等顕彰経費	518	485	△ 33
	市民芸術祭開催支援事業	まちかどコンサート（6月、12月）開催・市民ミュージカル準備経費補助	1,050	1,000	△ 50
	芸術鑑賞招へい事業	芸術鑑賞招へい活動への補助（音楽公演、演劇公演）	1,550	1,550	0
	江別市都市提携委員会補助金	江別市都市提携委員会が行う事業への補助	600	600	0
	市民交流施設関連経費 （江別国際センター施設管理費 等補助金）	江別国際センターの施設管理費等に対する補助	2,760	2,931	171
	国際交流情報提供事業	日本語が堪能な外国人の雇用による国際交流・国際理解の支援及び情報発信	4,816	4,804	△ 12
	中学生国際交流事業	姉妹都市米国グレシャム市との相互交流（中学生6名派遣、6名受入予定）	3,228	3,323	95

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
生涯学習係課	子ども会育成事業	子ども会育成連絡協議会が行うスポーツ・文化活動への補助	737	737	0
	はたちのつどい開催事業	「はたちのつどい」の開催	580	581	1
	科学体験教室開催事業	小学生を対象とした科学体験教室の開催	232	168	△ 64
	青少年のための市民会議補助金	青少年のための市民会議が行う健全育成事業への補助	120	120	0
	青少年キャンプ村事業	セラミックアートセンターでの小中学生自然体験 「こんがり王国」の実施	488	513	25
	小中学生国内交流研修事業	友好都市土佐市との相互交流（小中学生12名派遣、12名受入予定）	1,615	2,025	410
	地域体験活動事業	子どもを対象に地域資源を活用した体験活動（ツリークライミング、はじめてのお泊り会）の実施	380	325	△ 55
	江別の魅力「食」と「自然」を満喫できる体験型学習事業	江別の持つ魅力を子どもたちに伝える日帰りの体験型学習の実施	260	328	68
	屋外スケートリンク管理運営事業	特設スケートリンクの管理経費	5,654	5,976	322
	学校体育館土曜開放事業	学校休業日の土曜日、小学校体育館を地域の児童・生徒に開放	1,440	1,430	△ 10
スポーツ係課	社会人体育団体系開放事業	学校体育館・グラウンドの開放	263	263	0
	スポーツ大会出場奨励金交付事業	全道大会規模以上のスポーツ大会出場者への奨励金支給	2,234	2,251	17
	あけぼのパークゴルフ場管理運営事業	あけぼのパークゴルフ場指定管理料	14,874	19,461	4,587

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
スポーツ係課	森林キャンプ場管理運営事業	森林キャンプ場指定管理料	7,652	9,836	2,184
	中学校部活動サポート事業	部活動指導員の配置、地域展開アドバイザーの導入、部活動の地域展開に関する推進会議の開催	5,784	7,136 ※8,457	1,352 ※2,673
	江別市スポーツ協会補助金	江別市スポーツ協会の事業に対する補助	1,498	1,518	20
	地域スポーツ活動活性化促進事業	スポーツ推進委員が行う地域への軽スポーツ出前講座	222	326	104
	学校プール開放事業	夏休み期間中に小学校プールを児童・生徒に開放（民間事業者等への業務委託）	11,854	11,461	△ 393
	スポーツ少年団補助金	スポーツ少年団の事業に対する補助	2,054	2,153	99
	トップアスリート交流推進事業	高度な技術を有する各種スポーツ合宿利用団体に対する支援、トップアスリートと市民が交流するための機会を提供	2,356	2,056	△ 300
	特別支援学校フットサル大会開催支援事業	全道の特別支援学校が参加するフットサル大会への支援	484	495	11
	屋内体育施設管理運営事業	市民体育館、大麻体育館、青年センター、東野幌体育館指定管理料	214,123	239,931	25,808
	スポーツ大会等振興補助事業	各スポーツ大会開催等スポーツ振興事業補助	41,742	39,801	△ 1,941
	体育施設整備更新事業	体育施設の維持補修	7,792	9,083	1,291
	市民体育館改修整備事業	市民体育館2階移動式観覧席塗装工事	0	3,219	3,219

※6月補正予算により増額

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
情報図書館	子どものための読書環境整備事業	小中学校図書館の活用・充実を図るために巡回司書（4名）及び支援司書（1名）を配置	14,780	15,525	745
	図書館運営管理事業	情報図書館維持管理経費、会計年度任用職員報酬等	109,787	115,526	5,739
	市民交流施設関連経費（情報図書館）	市民交流施設における予約図書等の貸出・返却業務に要する経費	2,940	3,123	183
	図書館設備等更新事業	図書館情報システム運用保守等【新規】児童室防火シャッター修繕、高圧受電設備基礎設計委託、地下重油タンク内面改修工事、水循環ポンプユニット交換工事、木製書架（予約棚）購入経費	122,250	35,410	△ 86,840
	図書館資料整備事業	本館、分館等の図書、雑誌、CD等資料の購入経費	19,964	19,921	△ 43
	情報図書館コンピュータ学習室事業	パソコン教室の開催等に要する経費	956	984	28
	情報図書館展示室事業	展示会等の開催経費	54	54	0
	読書普及活動事業	本館、分館の読書普及活動事業「おはなし会」等の開催経費	376	328	△ 48
	本でつながるまちづくり事業	広告掲載用雑誌カバー購入及びポスター製作等に要する経費	80	80	0
	図書館資料集配ネットワーク事業	本館と分館間の図書等搬送に要する経費	1,576	1,630	54
	ふるさと江別塾～「江別を学ぶ」開催事業	市民向けの郷土史講座等	141	149	8
	郷土資料館管理運営経費	管理経費	18,481	19,843	1,362
	郷土資料館設備更新事業	郷土資料館収蔵展示室エアコン更新工事	3,019	456	△ 2,563
郷土資料館係					

令和8年度 社会教育予算に係る主要事業一覧

(単位:千円)

担当部署	事業事業名	主な内容	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	増減
郷土資料係館	江別市野幌太々神楽伝承会補助金	市民団体による「野幌太々神楽」の伝承活動に対する補助	400	300	△ 100
	野幌太々神楽保存会補助金	市指定文化財「野幌太々神楽」の保持団体である野幌太々神楽保存会への補助	150	150	0
	埋蔵文化財発掘調査事業	開発行為が予定される埋蔵文化財包蔵地（高砂遺跡）の発掘調査及び各種確認調査等	501	25,333	24,832
	郷土資料館企画展開催事業	未公開の収蔵資料や、発掘した埋蔵文化財などを広く市民に公開する企画展を開催	121	147	26
	【新規】文化財施設等整備事業	野幌屯田兵第二中隊本部補修工事	-	1,485	1,485
	【拡大】セラミックアートセンター企画展開催事業	手島圭三郎絵本原画展等の開催	449	4,198	3,749
セラミックアートセンター	セラミックアートセンター管理運営経費	施設設備の維持管理経費	43,085	44,273	1,188
	陶芸文化普及振興事業	陶芸教室や体験会等の開講及び工房利用者作品展の開催	8,988	9,359	371
	セラミックアートセンター改修事業	真空式温水器部品交換工事	5,752	4,537	△ 1,215
	【新規】セラミックアートセンター車両整備事業	登録から19年経過した公用車の更新	-	31	31

令和 7 年度 江別市社会教育総合計画（第10期）推進状況報告書

計画期間 令和 6 年度～ 令和 10 年度

基本理念：江別の風土を生かし、豊かで潤いのある地域社会を創造する人づくり

上記基本理念を実現するために基本目標を3項目設定し、取り組みます。

基本目標Ⅰ：地域全体で子どもを守り育てる体制づくり

【基本目標Ⅰで目指すこと】

家庭環境の多様化に伴い、子育てについての不安・孤立を感じる家庭や、子どもの社会性や自立心、基本的生活習慣の育成に課題を抱える家庭が増加するなど、教育上の課題が複雑化しています。また、核家族化や共働き世帯の増加などにより、地域とのつながりの希薄化が進み、子育てや家庭教育を支える地域環境が大きく変化しています。

江別の次代を担う子どもたちが健やかに成長していくために必要な力の育成など、地域の更なる教育力の向上に取り組むとともに、子どもの豊かな人間性や社会性を育む体験活動を推進し、人づくりと地域づくりを行うことによって、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりなど、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりを目指します。

1 家庭の教育力の向上

◆成果指標 1-① 家庭教育の支援に関する事業への参加者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
1,060人	1,330人	1,464人				→

指標：江別市教育委員会調査

◆成果指標 1-② 家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
27,761人	33,199人	32,650人				→

指標：江別市調査

2 地域の教育力の向上

◆成果指標 2-① 学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合（％）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
75.7%	76.9%	78.4%				↗

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標 2-② 地域団体等が主催する行事への参加者数（人）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
25,311人	27,394人	26,178人				→

指標：江別市教育委員会調査

3 子どもの豊かな人間性を育む教育の実践

◆成果指標 3-① ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合（％）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
53.8%	50.9%	53.9%				↗

指標：江別市教育委員会調査

4 子どもの安全・安心な環境づくり

◆成果指標4-① 子育て環境が充実していると思う保護者の割合（％）

現状値（R4年度）	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	目標値（R10年度）
47.9%	67.3%	73.2%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■令和7年度の実施内容、成果指標の動向・分析及び令和8年度の推進の方向性

・家庭教育の支援に取り組む団体と連携した学習機会の提供や子育て支援施設の活用により、家庭教育を支援しました。

・青少年の健全育成に取り組む地域の住民団体やボランティア団体をはじめとした育成団体の活動を支援するとともに、育成団体と協働して、地域の自然、文化、産業等の資源を生かした様々な体験活動の機会を提供しました。

・成果指標1-①「家庭教育の支援に関する事業への参加者数」は、R6年度に比べて増加し、成果指標1-②「家庭の教育力向上を支援するサービス等の利用者数」は、R6年度とほぼ横ばいの高い数字を維持しています。これは、各種事業や子育て支援施設の充実により、多くの市民が事業に参加し、施設を利用していることによるものであると考えられます。成果指標2-①「学校・家庭・地域の連携がとれていると思う市民割合」は、R6年度に比べて1.5%増加しています。R8年10月から、地域と学校のパイプ役となる「地域学校協働活動推進員」をモデル校区に配置し、地域と学校の特色や実情に応じた協働活動等を推進することで、地域全体で子どもたちの学びと成長を支え、学校を核とした地域づくりを目指していきます。2-②「地域団体等が主催する行事への参加者数」は、R6年度に比べて若干減少しているものの高い数字を維持しており、多くの市民が地域団体等が主催する様々な行事に参加している状況となっております。成果指標3-①「ボランティア活動や体験学習活動に参加する児童生徒の割合」は、R6年度に比べて3.0%増加しています。引き続き体験学習活動の充実を進めてまいります。成果指標4-①「子育て環境が充実していると思う保護者の割合」は、R6年度に比べて5.9%増加しており、子育て世代のニーズに応えた支援等が行われているためであると考えられます。

・今後も関係団体等と連携を図り、地域全体で安全に安心して子育てできる環境づくりを進め、地域の人材やボランティア団体などと連携した様々な体験・交流活動の機会を充実させるとともに、学校・家庭・地域が相互に連携しながら、地域全体で子どもを守り育てる環境づくりに努めます。

基本目標Ⅱ：持続可能な生涯学習の推進

【基本目標Ⅱで目指すこと】

近年、医療体制の充実、生活水準の向上、平均寿命の伸長により、「人生100年時代」を迎え、市民一人ひとりがより豊かに生きていくため、生涯にわたる学習の推進により、自らの能力を高め、その成果を個人の生活のほか、地域社会の課題解決につなげていくことが重要です。

そのため、学習機会や学習情報の提供、学習成果の活用場の充実に取り組み、市民が生涯を通じていつでも、どこでも、自由に学習の機会を選択して学び、その成果を自発的に社会に生かすことができる生涯学習社会の実現を目指します。

1 生涯学び、活躍できる環境の整備

◆成果指標 1－① 生涯学習に取り組むことで、心の豊かさを実感している市民割合（％）

現状値（Ｒ４年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ１０年度	目標値（Ｒ１０年度）
26.7%	26.8%	27.0%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標 1－② 生涯学習の施設が充実していると思う市民割合（％）

現状値（Ｒ４年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ１０年度	目標値（Ｒ１０年度）
65.8%	69.7%	77.9%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

2 市民が行う学習活動への支援

◆成果指標 2－① 生涯学習の情報が充実していると思う市民割合（％）

現状値（Ｒ４年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ１０年度	目標値（Ｒ１０年度）
59.1%	65.2%	73.2%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

3 多様な主体との連携・協働による学習活動の推進

◆成果指標 3－① 生涯学習の機会が充実していると思う市民割合（％）

現状値（Ｒ４年度）	Ｒ６年度	Ｒ７年度	Ｒ８年度	Ｒ９年度	Ｒ１０年度	目標値（Ｒ１０年度）
62.2%	67.5%	74.1%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

■令和7年度の実施内容、成果指標の動向・分析及び令和8年度の推進の方向性

・公民館や情報図書館をはじめとする社会教育施設について、生涯学習に取り組む市民や活動団体等に、安全で快適な学習環境を提供するため、「江別市公民館等長寿化計画」、「江別市情報図書館長寿化計画」等を踏まえた適切な維持補修等を行いました。

・生涯学習活動に取り組む社会教育関係団体が自立し、主体的に活動を展開していけるよう、各活動団体が行う事業への補助や、公民館施設等使用料の減免など、活動団体の安定的な運営への支援を行いました。また、市広報紙やホームページ、SNSなどにより、様々な学習機会の情報提供を行いました。

・市民の多様な学習要求に応えるため、高齢者大学の開設や市内関係機関・団体と連携して「えべつ市民カレッジ」を実施し、総合的に学ぶ機会を提供しました。

・成果指標1－①「生涯学習に取り組むことで、心の豊かさを実感している市民割合」は、Ｒ６年度に比べるとほぼ横ばいであり、多様な学習機会や学習情報の提供が求められます。成果指標1－②「生涯学習の施設が充実していると思う市民割合」は、Ｒ６年度に比べて8.2%増加しており、施設利用者からの要望を踏まえた施設改修等が行われていることによるものであると考えられます。成果指標2－①「生涯学習の情報が充実していると思う市民割合」は、Ｒ６年度に比べて8.0%増加しています。これは、従来の広報紙やホームページに加え、InstagramなどのSNSによる情報提供が充実してきたことが要因ではないかと考えられます。成果指標3－①「生涯学習の機会が充実していると思う市民割合」は、Ｒ６年度に比べて6.6%増加しており、各団体等の活動が活発化していることや、生涯学習の情報が入手しやすくなったことが要因ではないかと考えられます。

・今後も、市民の主体的な学びを支援するため、市民ニーズに応じた学習機会や学習情報の提供、社会教育施設の計画的な施設整備を進めるとともに、地域に関わる多様な主体との連携・協働による学習活動を推進します。

基本目標Ⅲ：文化・芸術による豊かな人間性の涵養と郷土の歴史の保存と継承

【基本目標Ⅲで目指すこと】

文化・芸術活動は、全ての市民に潤い豊かで、活力に満ちた生活をもたらし、幸せな人生を送る糧となります。このため、市民の主体的な活動を支援するとともに、多様な文化・芸術活動に触れる機会の提供に努めます。

文化・芸術活動の拠点となる文化施設においては、環境整備に努めるとともに、情報提供や学習プログラムの構築を図ります。

また、郷土の歴史への理解を深め、その保存と継承を図るために、市民が郷土に愛着を持ち、誇れる文化資源となるよう学習機会の提供などに努めます。

1 多様な文化・芸術活動の促進

◆成果指標 1-① 文化・芸術活動に参加している市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
26.6%	26.8%	24.3%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

2 文化施設の機能充実

◆成果指標 2-① 過去1年間に文化施設を利用した市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
25.9%	32.2%	33.0%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

3 個性豊かな地域文化の保存活用と継承

◆成果指標 3-① 文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合 (%)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
35.3%	36.0%	35.3%				

指標：江別市まちづくり市民アンケート

◆成果指標 3-② 郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数 (回)

現状値 (R 4年度)	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	目標値(R 10年度)
48回	70回	53回				

指標：江別市教育委員会調査

■令和7年度の実施内容、成果指標の動向・分析及び令和8年度の推進の方向性

・市民に質の高い文化・芸術を鑑賞する機会や幅広い活動の場を提供するため、音楽・演劇公演の開催や文化活動団体の事業に対し支援を行いました。

・郷土資料館、セラミックアートセンター等の文化施設では、安全・安心で快適な学習環境を提供するため、施設の適切な維持管理に努めました。

・旧町村農場では、酪農の歴史や文化を発信するため、市民を対象としたセミナー等を実施しました。

・郷土資料館では、ふるさとへの理解を深める機会を提供するため、市民から寄贈いただいた資料を活用した企画展や各種歴史講座の開催、小学校の総合学習への支援等、郷土史学習に関する事業を実施しました。

・セラミックアートセンターでは、「手島圭三郎絵本原画展」並びに「尾形香三夫追悼展」を開催し、郷土が誇る芸術文化の普及に努めるとともに、幅広い世代に対応した各種陶芸教室等を開講しました。また、日本遺産「炭鉄港」の構成文化財である炭鉱鉄道遺産群を紹介するロビー展を開催しました。

・成果指標 1-①「文化・芸術活動に参加している市民割合」は、R 6年度に比べると若干減少していることから、参加の機会の提供や活動団体への支援が求められております。成果指標 2-①「過去1年間に文化施設を利用した市民割合」は、ほぼ横ばいであり、文化施設での鑑賞機会の周知等を図ってまいります。成果指標 3-①「文化財や歴史遺産の活用により、個性豊かな文化が育っていると思う市民割合」は、R 6年度に比べるとほぼ横ばいであり、文化財等をさらに活用していくことが求められます。3-②「郷土文化・歴史を学ぶ事業の開催数」は、R 6年度に比べて減少しています。これは、小中学生への学習支援が令和6年度に集中したことによるものです。

・今後も市民の文化・芸術活動への支援や鑑賞機会の充実に努めます。また、郷土の歴史を継承していくため、歴史文化資源の保存及び利活用を推進するとともに、各種講座の開催等を通じて、地域文化の保存・継承に努めます。